

Google AI Studioで 「誰でも」業務ツールを開発！

～議事録自動化システムを例に～



AIの力で業務効率化を実現

2025年6月27日

はじめに：AI活用への一步を踏み出せないでいませんか？

！ 現状の課題

- 💬 「チャットでちょっと試ただけで終わってしまっている」
- ？ 「興味はあるけれど、何から始めればいいのかかわからない」


AIで「こんなことができたらいいな」と思うことはたくさんあるのに、実際の活用につながっていない。

● Google AI Studioの可能性

- ✓ 身近な業務課題を自分自身で解決できる
- ✓ エンジニアに依頼しなくても、AIツールを開発できる
- ✓ 具体的な業務改善をスピーディに実現

AIの力を借りることで、従来エンジニアに依頼しなければ実現できなかったことが、誰でも簡単に形にできる時代になりました。

現状の課題：会議の議事録作成、こんな悩みがありませんか？

 Google Meetには「録音」「文字起こし」「議事録作成（Gemini活用）」などの便利な機能が備わっています。しかし、これらの機能を活用しても以下のような課題が存在します。



1. 情報の正確性

課題：文字起こしの精度が不十分

- 専門用語が多い会議では精度が低下
- 複数の話者が同時に発言すると誤認識
- 内容の確認や手動修正に多くの手間

❗ 議事録としての信頼性が低下し、作業効率が悪化



2. 構造化と活用

課題：単なるテキストの羅列に留まる

- 「会議での決定事項」が明確でない
- 「アクションプラン（ToDo）」が整理されていない
- 重要情報が会話の中に埋もれてしまう

❗ 会議の成果や結論が分かりにくく、活用しづらい



3. 進捗管理

課題：アクションプランの追跡が困難

- 前回の会議で決定したタスクの進捗状況が不明確
- 「完了」「継続中」などのステータスマネジメントができない
- 複数会議に跨るタスクの追跡が困難

❗ タスクの放置や進捗不明によるプロジェクト遅延のリスク

→ これらの課題により、議事録の作成から活用、次のアクションに繋げるまでのプロセスに多大な工数がかかっています。

解決策：Google AI Studioで「AI議事録作成・活用システム」を開発！

目的：「正確で、構造化され、次のアクションに繋がる」議事録の作成・活用プロセスを自動化・効率化する



高精度文字起こし機能

- ✓ Google Cloud Speech-to-Text APIを活用
- ✓ 話者の識別も可能な範囲で実施
- ✓ 情報の正確性を担保



議事録の自動構造化機能

- ✓ Gemini APIによる解析
- ✓ 「会議の要約」を自動生成
- ✓ 「決定事項」「アクションプラン」を抽出



手動編集インターフェース

- ✓ AIが生成した議事録を修正・追記
- ✓ シンプルで使いやすい編集画面
- ✓ 人間によるファイナルチェック



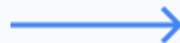
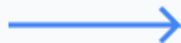
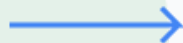
アクションプラン管理機能

- ✓ ToDoをリスト化して管理
- ✓ 「未着手/進行中/完了」のステータス更新
- ✓ 過去のアクションプランも一覧確認



エクスポート機能

- ✓ テキスト形式で出力
- ✓ Markdown形式で出力
- ✓ 様々な用途にスムーズに活用可能



議事録作成の課題を**AIの力**で解決

「誰でも」開発できた理由：Google AI Studioとアジャイルな開発プロセス

Google AI Studioの活用

約60分

要件整理から開発・デプロイ・運用開始までを完了



要件整理



プロトタイピング



実装・テスト



デプロイ・運用

AIによる開発プロセスの支援



迅速なプロトタイピング

Google AI Studioのプレイグラウンド上で、簡単なプロンプトの試行錯誤だけで「議事録の自動構造化」機能の実現可能性を素早く確認



開発プロセスの簡略化

PoC（概念実証）の段階では設計フェーズを大幅に簡略化し、AIでの実現可能性確認後すぐに実装とテストに進行



迅速な機能改善

「Markdown形式での出力機能」などの追加要件も、AIへの依頼により迅速に再実装し、アジャイルな改善を実現



ドキュメント作成の自動化

実装後はAIを使ってコードから詳細設計書をリバース生成し、コードとの整合性チェックまでAIが支援

Google AI StudioとAIの支援により、エンジニアでなくても開発プロセスが取り組みやすくなりました

開発プロセスの具体例：AIによる開発支援

AIを活用することで、開発プロセス自体が効率化され、エンジニアでなくても取り組みやすいものになりました。



迅速な機能改善

- ❗ **課題**：初期実装にMarkdown形式での出力機能が含まれていなかった
- 🔧 **AIの活用**：機能追加をAIに依頼
- ✅ **成果**：すぐに再実装され、迅速に改善を進められた



テストデータの自動生成

- ❗ **課題**：システムテスト用の議事録データやサンプル文書の準備が必要
- 🔧 **AIの活用**：Geminiを用いてテストデータを自動生成
- ✅ **成果**：テストデータ準備の手間を大幅に削減



ドキュメント作成の自動化

- ❗ **課題**：実装後に詳細設計書が必要だが作成に時間がかかる
- 🔧 **AIの活用**：AIを使ってコードから詳細設計書をリバース生成
- ✅ **成果**：ドキュメント作成の工数削減とコードとの整合性確保を実現



● AIは**開発対象**になるだけでなく、**開発プロセス自体を支援するツール**として活用することで、開発サイクルを劇的に短縮し、「誰でも」取り組みやすいものになっています。

まとめと今後の可能性：AIであなたの業務をもっと効率的に！

💡 本取り組みの最大の意義

AIの力を借りることで、従来エンジニアに依頼しなければ実現できなかったことが、誰でも簡単に形にできる時代になりました。

- 議事録の精度向上と会議後の作業効率の大幅改善を実現
- Google AI Studioを活用し、アイデアを迅速にプロトタイプ化
- 会議を中心とした業務プロセス全体の生産性向上を目指す

📢 あなたの身近な業務課題も、Google AI Studioを使えば驚くほど簡単に解決できるかもしれません。ぜひチャレンジしてみましょう！

🖥️ 実際に動作するプロダクト

開発した「AI議事録作成・活用システム」は、実際に動作するプロダクトとして完成しています。以下のリンクからアクセスできます。

🌐 デモアプリケーション

<https://poc-meeting-studio-253179510304.us-west1.run.app/>

🐙 GitHubリポジトリ

https://github.com/abenben/poc_meeting_studio

📌 開発の裏側や具体的な実装に興味がある方は、GitHubリポジトリをご覧ください。

デモ & リソース



動作するアプリケーション

実際に動作する「AI議事録作成・活用システム」を体験してみましょう。

<https://poc-meeting-studio-253179510304.us-west-1.run.app/>



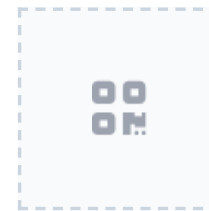
💡 議事録の精度を向上させ、会議後の作業効率を大きく改善できます。



GitHubリポジトリ

開発の裏側や具体的な実装に興味がある方はソースコードをご確認ください。

https://github.com/abenben/poc_meeting_studio



</> Google AI Studioを使った開発プロセスの詳細が分かります。



あなたの身近な業務課題も、Google AI Studioで解決してみませんか？



ご質問・ご意見をお待ちしております